

歴史を感じて

三輪⑧栗田周辺

この資料は、「筑前町の歴史」、「夜須の民話と伝説」、インターネット等を引用し作成しています。

ぷら～り



散歩



これからの時代、健康づくりが大切です。歴史を感じながら散歩を楽しみましょう。コロナに負けるな!

栗田

神社	松狭(まつお)八幡宮
	老松宮(おいまつぐう)
寺院	光蓮寺(こうれんじ)
遺跡	栗田遺跡
	栗田釜寺遺跡
	光誓寺(くしょうじ)跡
その他	松狭八幡宮の大楠
	栗田の大櫻



光蓮寺

(前略) 寺記によれば「天正4年(1576年)北島右近(善仲：ぜんちゅう)が森山の多幸田(たこだ)に創建した。北島右近の出自は、出雲国造(いずものくにみやつこ)北島家の子孫である。右近は大坂石山本願寺と織田信長の戦いに上り、和議成立後、本願寺顕如上人紀州鷲(きしゅうさぎ)の森随伴の巧により、祖師上人御真筆十字名号(寺宝)と法名善仲を頂く。寛永10年(1633年)4代祐玄(ゆうげん)の時、寺号と御本尊を賜る。元禄14年(1701年)6代元貞(げんてい)と藩主黒田長重公は格別に御懇意の由、阿弥陀ヶ峰地を拝領し本堂を建立。後、大風の為堂宇破却、7代達性(たつしょう)の時、宝永7年(1710年)、現在地に移る。」とある。

11代徳隣(とくりん)、12代玄貞(げんてい)(黙庵：もくあん)は日田の広瀬淡窓(ひろせたんそう)の家塾・咸宜園(かんぎえん)に学び、

明治10年当地に家塾徳本(とくほん)教校を開く。



★地名の由来や伝承等ご存じの方は、下記までご連絡ください。

お問い合わせ:筑前町社会福祉協議会
(筑前町篠隈373コスモスプラザ福祉館)
TEL:0946-42-4555(担当 三鴨、石丸)
Eメール:chikuzenshakyo@tea.ocn.ne.jp

老松宮

筑前国続風土記及び附録に「ジゲ。神殿一間 拝殿二間。祭礼九月二十五日 産神とひとしく祭れり。」

天正19年(1591年)小早川隆景が大宰府に天満宮を再建するまで14年間、秋月種実により天満宮のご神体を移し祀りあわせて社人も招き寄せていたので天満宮帰座後は菅公及び老松大明神を祭祀するようになったのである。

境内は天満宮のように社前の石鳥居の傍に神池があり、その中島に弁財天の祠がある。拝殿前に飛び梅一株もある。

秋月種実がここに祠を造営したのは岩屋城合戦のとき配下により天満宮を焼いたので、罪滅ぼしに地家地五百石を寄付したのによる。地家(じげ)というのはこの地域が天満宮安楽寺領であったためであろう。

松狭八幡宮

神功皇后の伝承地。皇后が秋月の羽白熊鷲(はじろくまわし)と戦うために、香椎の榎日の宮(かしののみや)を経て松峡宮(まつおのみや)へ移り、戦いの後、この場所に八幡宮を祀ったという言い伝えがあります。また、筑前町にある「夜須(やす)」という地名は、戦に勝利した神功皇后が「心安し」と言ったことにちなんでいるのだとか。

栗田マップ



光蓮寺



弘誓寺跡



栗田の大櫻



目配山



神功腰掛椅子



目配山からの景色

老松宮



栗田公民館 栗田グランド



栗田遺跡



栗田釜寺遺跡



所在地 朝倉郡深谷町栗田
目配山と弥永山に挟まれた谷部標高七二〇mに分布しています。
古墳二六基を発掘したが、すべて円墳です。
古墳時代中期(五世紀)の横穴式石室一基と後期から終末(六世紀)七世紀の横穴式石室二五基の発掘調査を行いました。
中期のものは縦長方形を、後期以降のものはいわゆる三味線型石室と呼ばれ、石室前面が円く弧を描くものや、円形をするもの、小型化した長方形をするものでした。
このほか縄文土器や弥生の土器等も出土しました。



石垣があり、これから先に遺跡があったとの事です。

松狭八幡宮の大楠



松狭八幡宮



栗田遺跡 (緩田)
所在地 朝倉郡深谷町栗田
この遺跡は、昭和初期にすでに令せ口遺跡や赤色に彩られた高杯・土器が出土することから、古くは、昭和四十八(一九七三)年の調査で、高杯十二基、土器遺構八箇所が検出されました。特に赤色土器は、高杯や土器のほか、大形筒形器等があり、焼製された土器に塗られ、表面内外を、白い土で厚く塗り、表面に赤い土を塗り、赤地に輝く赤色遺跡として有名です。
これらの出土遺物は、平成六年六月二十日、国の重要文化財の指定を受けました。



栗田遺跡 (緩田)
所在地 朝倉郡深谷町栗田
この遺跡は、昭和初期にすでに令せ口遺跡や赤色に彩られた高杯・土器が出土することから、古くは、昭和四十八(一九七三)年の調査で、高杯十二基、土器遺構八箇所が検出されました。特に赤色土器は、高杯や土器のほか、大形筒形器等があり、焼製された土器に塗られ、表面内外を、白い土で厚く塗り、表面に赤い土を塗り、赤地に輝く赤色遺跡として有名です。
これらの出土遺物は、平成六年六月二十日、国の重要文化財の指定を受けました。